



## アドビ、従来型印刷およびデジタル印刷で あらゆる印刷面に最適化されたカラーレンダリングを実現する Adobe PDF Print Engine 5 を発表

※当資料は、2018年7月22日に米国本社から発表された[メディアアラート](#)の抄訳です。

【2018年7月24日】

**米国カリフォルニア州サンノゼ発：**Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、9,000億ドル規模の印刷業界におけるプリプレスワークフローで中心的役割を果たすレンダリングテクノロジーの主要製品 [Adobe PDF Print Engine](#) の最新版となるバージョン5 (APPE 5) を発表しました。APPE 5 は、現在用いられているデジタルと従来型の両方の印刷技術の可能性を存分に引き出す機能を新たに搭載し、PDF Print Engine が持つ信頼性の高いカラーの再現度を向上させています。インクとインクジェットプリンターのヘッドは幾度もの技術革新を経て、今やさまざまな物の表面に印刷することが可能となりました。APPE 5 は、次世代のテキスタイルプリント、産業用印刷ステーション、ラベルやパッケージのデジタルプレスにおけるカラーの表現力を最大限に高めます。

デザイナーは常に Adobe Photoshop CC、Illustrator CC および InDesign CC の最新機能を駆使して、より高いレベルのクリエイティブを追求しています。その結果、作品にはグラフィックスが多量に多用され、印刷はますます複雑になっています。APPE 5 は、そのような作品を、紙、プラスチック、布、金属、セラミック、ガラス、食品などのフラットまたは起伏のある表面に印刷する際に、正確にレンダリングできるように最適化されています。また、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの基本4色を超える色数のインクセットを使用する Expanded Color Gamut (ECG) デジタルプレスのサポートを強化し、ブランドメッセージの視覚的、触覚的効果を高めます。

### Adobe PDF Print Engine 5 の新機能

- **高速エッジ拡張：**グラフィックオブジェクト上でアンチエイリアスすることでエッジの見た目をスムーズにし、低解像度のグラフィックも含め、代替メソッドやポストレンダリングメソッドに比べて処理時間を短縮します。
- **強化された Unicode サポート：**制御パラメータ、ファイルパス、パスワードに非ローマン言語の文字セットのマルチバイト文字が使えるようになり、中国語、日本語、韓国語などの言

語でさらに使いやすくなりました。

- **PDF 2.0 印刷機能サポート**：画像をカラー変換した際のシャドウ領域のディテールを保存するための黒点補正 (BPC)、スペクトルベースのカラー管理を有効にする CxF 定義されたスポットカラー (Color eXchange Format)、出力デバイスのハーフトーンスクリーンと RIP 内で面付けされたオブジェクトの位相を合わせる HTO (Half-Tone Origin) 機能をサポートしました。
- **ページレベルの出カインテント**：複数ページの PDF 2.0 ジョブのカラー変換をページごとに管理でき、プリプレスワークフローでの柔軟性と自動化を高めます。

アドビのバイスプレジデント兼プリント アンド パブリッシング事業部門担当ゼネラルマネージャーであるアディル ムンシ (Adil Munshi) は次のように述べています。「ブランドマネージャーは、顧客と繋がるために生き生きとしたデザインが正確に再現できることを期待しています。Adobe Creative Cloud で作成し、Adobe Acrobat DC でレビューを行い、Adobe PDF Print Engine 5 で検証して出力した印刷ジョブは、最速のレンダリング、ベストな組み合わせのカラー画像処理を実現し、すべての工程において予想どおりの結果を得ることができるようになりました。」

Agfa Graphics のマーケティングマネージャーであるエリック ピーターズ (Erik Peeters) 氏は次のように述べています。「Agfa Graphics は、当社の最先端プリプレスソリューションである Apogee 11 を、Adobe PDF Print Engine 5 を組み込んだ最初の製品として発表します。1993 年にアドビが PDF フォーマットを発表した時、当社はその堅牢な画像処理モデルがグラフィックアートに適していることを即座に認識し、業界初となる PDF ベースのプリプレスワークフローを開発しました。この 25 年の間に印刷は劇的な変化を遂げましたが、Apogee と Adobe PDF Print Engine の最新リリースによって、複雑なグラフィックを期待どおりに再現する PDF の価値と実力を再認識することができるでしょう。」

#### 提供開始時期

PDF Print Engine 5 は、新旧のソリューションパートナーに提供され、各社は現在、それぞれの製品ラインへの組み込み作業を行っています。アドビは、市場をリードするベンダーと緊密に連携して、商業印刷、出版、看板、CAD/GIS、写真、包装/ラベル、ダイレクトメール、テキスタイル/衣類、その他の製造用途など、あらゆる分野に Adobe PDF の印刷体験を提供します。マルチコア、ネットワーク、あるいはクラウドプラットフォームで動作する Mercury RIP アーキテクチャとともに用いることで、PDF Print Engine 5 は単一プレスまたは複数の印刷機を使った大量印刷を処理できるようになります。プリントサービスプロバイダーは、今年中に PDF Print Engine 5 が組み込まれた製品の新規購入やアップグレードが可能になる予定です。詳細は[こちら](#)をご参照ください。

## アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

© 2018 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.